

無投票当選は民主主義の崩壊の始まりです。小選挙区選
 挙で死票にされた私達の安倍政権への批判票を中選
 挙区制の県議会選挙で生かしましょう。自らの所属する
 政党の堕落した有様に批判の声を上げようとしぬ
 地方の与党議員に私たちの批判の目をむけましょ。議
 員の資質の第一は不公正不公平に目を瞑らぬこと
 です。それが私達の命を守ります。子供たちの未来を守
 ります。



樽谷昌年
 広島城北高 早稲田法大

夢と笑顔と活気にあふれる広島県

明るい未来に向かって、子どもからお年寄りまで、いきいきワクワクと毎日を過ごすことができる

たかたみのるプロフィール

1961年 東洋(マツダ)病院生まれ
 1980年 広島大学附属高校卒業
 1984年 青山学院大学理工学部卒業
 1984年 マツダ入社
 マツダの開発と市場導入を担当

(家族) 妻と娘2人。隣に住む母。
 (趣味) テニス、ドライブ&写真撮影

- 地域の方々や働く仲間への声の聴く、聴く、聴く
 - 兎にも角にも、現場に向き自分の目で確認する(現場現物)
 - 全体最適で考えると同時に、スピードと柔軟性を大切にする
- 取り組み**
- 災害に強いまちづくり
 - ・被災地の早期復旧と復興
 - ・災害を最小化するためのインフラ整備と行動方法の徹底
 - ・経済活性化にもつなげる、道路、港湾、公共交通の整備
 - 充実した日々の生活の実現
 - ・子育て世代のための支援と教育システムの整備
 - ・多様な働きたい要望を叶える仕組みの整備
 - ・身の健康維持につながるスポーツや文化活動の機会の創出
 - 明るい未来への布石
 - ・モノづくりの強みを活かした、生産性向上の実現
 - ・海外市場でのビジネス機会の拡大支援
 - ・広島県を核とした観光エリアの創出



無所属
 広島県議会議員候補(安芸郡区)

たかたみのる

郷土の未来、安心な暮らしを守ります

- ライフラインの強化!**
 - 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興。
 - 渋滞緩和や踏切事故防止等、生活道路の整備。
 - 公共交通のネットワーク化。
 - 防災・減災対策など、危機管理の情報周知を徹底。
 - 地域の治安向上、防犯対策の取り組み。
- 未来をつくる教育改革!**
 - 教員不足の解消を推進。
 - 魅力ある学校づくり。
 - 校舎の耐震強化など教育環境の整備。
 - 待機児童ゼロを目指す。
- 安心な生活基盤!**
 - 信頼される地域医療。
 - 障がい者や高齢者のサポート。
 - がん対策等の健康サポート。
 - 地域住民にやさしい街づくり。

これからも皆様の声を、「県」へ「国」へ確実に届け、
 三世代住みよい街づくり、安心・安全な地域づくりに
全力で取り組んでまいります!

平本 徹 (ひらもと とおる) 昭和40年10月13日生まれ(53歳)

経歴

- 熊野町立熊野中学校 卒業
- 熊野町商工会 理事
- 広島県立皆実高等学校 卒業
- 熊野町商工会 監事
- 東京国際大学 卒業
- 広島安芸法人会熊野支部 理事
- 高砂鐵工株式会社
- 安芸農業協同組合 熊野支店 総代
- 不二産業株式会社 代表取締役 (昭和38年11月設立)
- 自衛隊協力会 幹事

座右の銘 ● 刻苦光明



自由民主党公認
 公明党推薦

平本とおる

伊藤まゆみ 学歴(プロフィール)

- 1963年10月3日生まれ 55歳
- 熊野中学校
- 広島井口高校
- 広島大学 法学部 卒業
- 広島大学大学院 法律学 修了

活動報告

- 自由民主党広島県支部連合会 女性局長
- 県議会動物愛護議員の会 幹事長

http://www.mitaya.com

詳しくはホームページをご覧ください。

趣味

- 愛犬ランソットとお散歩!
- 自家製石窯ピッツアと梅干し・味噌づくり
- 仲間と作る里山「熊野高原ファーム」での竹林コンサート

「最優先は災害復興!!」

東部連立主体交差事業の促進!
 2022年新動物愛護センター移転整備の実現!
 広島版ネオプランランドの子育支援モデルの推進!
 国際文化平和都市広島構築!

ソフト対策

- 学校教育・生涯教育で、災害の教訓を後世に伝承する取組み。
- 自主防災組織と地域コミュニティの構築。
- 被災者さんの心と身体へのケア支援。

ハード対策

- 本復旧における強靱な砂防堰堤・治山堰堤の整備と急傾斜対策。
- ため池対策と護岸整備。
- 被災者さんの恒久的な住居確保のため「災害公営住宅の整備」

昨年7月に県内に甚大な被害をもたらした豪雨災害では、県内113名もの尊い命が失われてしまいました。未だ行方不明や災害関連死の方もおられます。今、災害から8ヶ月が経過し、公共交通機関や河川など順次復旧し、日常に戻ったように感じられますが、その一方で自家半壊の半壊全壊などで災害前の生活を振り返っておられない方も多くおられます。未だ仮設住宅などで困難な生活を強いられる被災者の方が一日も早く元の生活に戻れるよう、被災地の本復旧と生活再建支援に全力で取り組めます!!

そして、将来の南海トラフ地震などに備え、今後被害を最小限に食い止めるため、本復旧での「強靱な砂防堰堤や急傾斜対策、治山堰堤やため池対策のハード整備」と合わせて、「命を守る行動につなげていくためのソフト対策」をすすめてまいります!!



自由民主党公認・女性局長

伊藤まゆみ